

第18回 電気システムセキュリティ特別技術委員会
議事録(案)

日時 : 平成28年 7月 11日(月) 15時00分~17時30分

場所 : 自動車会館 1階 会議室

出席者 : 栗原委員長, 寺井委員(A部門長), 徳田委員(A部門代表), 佐藤委員(B部門代表),
芹澤委員(C部門長), 泉井委員(C部門代表), 澤田委員(C部門代表), 小林委員(D部門代表),
瀬戸委員(2号委員), 芹澤委員(2号委員), 市川(奥村委員代理(2号委員)),
毛塚委員(2号委員), 桂幹事(敬称略), 以上12名

配付資料

- 資料18-0 第18回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事次第
- 資料18-1 第17回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事録(案)
- 資料18-2 電気システムセキュリティ特別技術委員会 委員名簿
- 資料18-3-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料18-3-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料18-3-3 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」活動報告
- 資料18-3-4 「スマートグリッドのスマートファシリティ内における EMC 環境特別調査専門委員会」
活動報告
- 資料18-3-5 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料18-4 電気システムセキュリティ特別技術委員会 関連進捗状況
- 資料18-5 日本学術会議シンポジウム

議事概要

1 開会挨拶

栗原委員長より, 開会にあたり挨拶ならびに本特別技術委員会の概要説明があった。また, 新任委員の自己紹介があった。

2 前回議事録の確認

資料18-1に基づき, 平成27年12月15日に開催された第17回委員会の議事録(案)について確認を行い, 承認された。

3 特別調査専門委員会からの報告

3-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」(瀬戸委員)

資料18-3-1に基づき, 活動状況について報告があった。

第8回委員会を3月2日に, 第9回委員会を6月1日に開催した。

報告書の形態を技術報告単行本としており, 「図」, 「写真」の引用転載許諾の取り扱いについて議論を行った。原稿は9割方仕上がっている。

(泉井委員) いつ頃出版されるのか。

(瀬戸委員) うまくいけば2017年3月の発行を予定している。

(栗原委員長) 引用に関して引用元から引用転載許諾が得られるのか。

(瀬戸委員) 引用について細部にわたってしっかりと記載しておくことで問題ないと出版社から連絡を受けている。

(小林委員) 外部の出版社に出版を委託した場合でも、電気学会の委員会の活動を纏めた報告については、著作権は電気学会が持つこととなる。

(徳田委員) 今回は特別技術委員会なので一般の技術委員会とは違うのではないかと。一般の技術委員会の場合、出版事業委員会に相談して進めている。

(小林委員) 外部の出版社に出版を委託する場合でも、電気学会の出版事業委員会に稟議を通した方が良い。

(栗原委員長) 電気学会の出版事業委員会に相談して頂きたい。特別技術委員会で初めてのケースということで、まずはこちらから事業サービス課に確認の上、安田副会長（編修出版）に相談したい。

3-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」（桂幹事）（餘利野委員代理説明）

資料18-3-2に基づき、活動状況について報告があった。

第9回委員会を12月22～23日に開催した。

電気学会全国大会シンポジウム、日本学術会議公開シンポジウムに参加した。

技術報告を纏めており、活動期間の再延長について検討を行っている。

審議の結果、再々延長はなしという条件付きで活動期間の再延長を認めることとした。

3-3 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」（芹澤委員）

資料18-3-3に基づき、活動状況について報告があった。

第8回委員会（2月24日）、第9回委員会（6月3日）での審議内容について報告された。

今年のC部門大会のシンポジウムセッションをもって解散とする。

解散報告書について説明があった。

(栗原委員長) 成果報告の形態は部門大会シンポジウムのみでなく、他の開催分も入れた方が良いか。

(芹澤委員) 最後のまとめのシンポジウムを記入している。

第2期の委員会（平成28年8月～平成30年9月）について、設置趣意書（案）の説明があり、以下のような審議が行われた。

(徳田委員) 第1期と第2期の活動内容を記載した補足資料は大変分かりやすい。

(佐藤委員) 電力ISACなどは検討されているか。

(芹澤委員) 情報共有体制の部分に追加したい。

(栗原委員長) セキュリティの場合は学術の振興と違うので、調査検討事項についてご検討頂きたい。

(栗原委員長) 「政治」の部分は「政策」とすべきである。

設置趣意書の基本部分は問題はなく、上記コメントについて修正後メール審議を行い、最終的に承認することとした。

- 3-4 「スマートグリッドのスマートファシリティ内における EMC 環境特別調査専門委員会」(奥村委員)
資料18-3-4に基づき、活動状況について報告があった。
第7回委員会(9月9日)、第8回委員会(11月13日)、第9回(1月13日)、第10回(4月12日)の議事内容の報告があった。
技術報告の取り纏めについて、委員会の延長申請は行わず、整理委員会を設置する形としたい。
次期特別調査専門委員会については検討中である。

(栗原委員長) 解散報告書内に整理委員会の設置についても記載して頂きたい。

(小林委員) 整理委員会と次期委員会の期間は重ならないようにして頂きたい。

- 3-5 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」(毛塚委員)
資料18-3-5に基づき、活動状況について報告があった。
第5回委員会(3月17日)での審議内容について報告された。
今後、以下のように委員会の開催を予定している。
第6回: 7月15日 浜松ホトニクス
第7回: 8月3日 長岡
第8回: 11月25日 金沢工業大学(PHS研究会)
第9回: 3月 富山大学(全国大会)

(栗原委員長) 調査・検討項目が広く、発散しないように纏めて頂きたい。

(毛塚委員) 新しいインフラを対象にしている。

- 4 日本学術会議(電気電子工学委員会 制御・パワー工学分科会) 公開シンポジウムについて
資料18-5に基づき、6月24日に行われた日本学術会議シンポジウムについて報告があった。
テーマ: 電気エネルギー・制御システムにおけるセキュリティを考える
栗原委員長, 餘利野委員, 泉井委員が講演を行った。

- 5 その他
なし

以上

次回開催: 第19回 委員会: 平成28年 10月17日(月) 15時00分~17時30分